

有効期間と更新

GSQA-PRG-005・2.0・2026-10-19

1. 有効期限の計算

有効期間は 12 暦月で、発効日と正確な有効期限が記録され、日付とタイムゾーンが公開記録に記録されます。最終月に対応する日が存在しない場合は、末日が使用されます。証明書は、実際に記録された期間を超えてはなりません。

2. 更新ドキュメント

更新申請は有効期限が切れる 6 か月前から受け付けられます。これらは、元の記録、現在の構成、標準への変更、レポートの継続的な適用可能性、品質の問題、および公開可能な文書を特定します。更新の必要のない文書であっても、理由を添えて依然として適用可能であることを確認する必要があります。

3. 継続性と中断

有効期限が切れる前に承認された場合は、元の期間が継続される場合があります。保留中の申請は自動的に延長されません。中断の後、新しい決定は実際の発効日に開始されます。ギャップを遡ってはならず、古い証明書を現在の有効性を主張するために使用してはなりません。

4. 明示的な発効日と有効期限

各記録には、開始日、終了日、ステータスが記載されています。有効期間は、証明書、使用許諾、公開記録に対応して 12 暦月として計算されます。通常の失効は、効力停止および取消しとは区別されます。

5. 更新は有効期限の6か月前から開始されます

現在のモデル、構成、販売市場、適用される要件、レポート、および公開範囲が再度検証されます。更新では、すべてのテストを繰り返すことが自動的に要求されるわけではありませんが、既存の証拠は引き続き適用可能でなければならない、変更と有害な結果は開示されなければなりません。

6. 申請しても有効期限は延長されない

元の記録は期限内に期限切れになります。有効期限が切れる前に承認が完了すると、継続性が得られる場合があります。中断後は、ギャップを遡ることなく、新しい決定は実際の新しい発効日に発効します。

7. 重大な変更は速やかに報告する必要があります

元の調査結果に影響を与える設計、材料、重要なコンポーネント、ソフトウェア、生産現場、または法的資格の変更には、速やかに対処する必要があります。変更された製品は、確認なしに古い範囲内でプロモーションを継続することはできません。

8. 記録・手続・訂正

本書が扱う事項について、申請番号または案件番号、具体的な製品と市場、適用版、文書と参照ページ、担当者、重要日付、理由および正式通知を保存する。個人情報と営業秘密はアクセス権限に従って取り扱う。記録に疑問がある場合は、情報訂正、苦情、または権限を有する申請者向けの再審査手続を利用できる。提出だけで既存の決定や使用許諾が変わることはない。処理結果は正式通知と最新の記録による。

9. 発効・適用・版管理

本書第2.0版は2026年10月19日に公開・発効し、その後に正式提出された対象事項に適用する。既存の申請については、原本の記録と当時の規則を保持する。実質的な変更は別途通知し、経過措置に基づいて扱う。過去の決定に新条件を遡及して書き加えない。ウェブ掲載版とダウンロード版の内容を一致させる。旧版には後継版との関係を明記し、名称・文言の訂正と実質的な改正を区別して記録する。